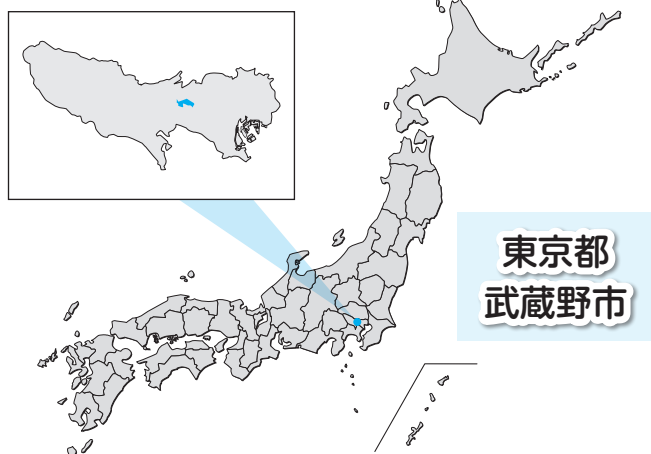


私のふるさと



加治町
ちかうどう まや
張堂麻綾 さん



東京都
武蔵野市

父の転勤であちこちに住み、ふるさとと呼べる場所は正直、思い当たらないのですが、実家や母校のある吉祥寺(武蔵野市)を紹介します。

吉祥寺の駅周辺には戦後の闇市から発展したハーモニカ横丁をはじめ、デパートや多くの商店が並び、初めて来た主人が祭りでもやっているのかと言うほど、毎日多くの買い物客や学生などでにぎわっています。学生の頃に、私もよく友人と楽しく買い物をした思い出があります。

また、帰省時に家族でよく出掛ける「井の頭恩賜公園」や「ジブリ美術館」、大学や高校などの教育機関、アニメ制作スタジオなども点在し、文化的な面もあります。渋谷、新宿、東京、高尾などに電車一本でアクセス可能で、交通の便もとても良い場所です。

結婚を機に須賀川に来て、はじめは暖房の使用期間の長さや夜が暗くて静かなこと、大好きな果物がデパート並みにおいしいことに驚きました。そして、意外と東京に近いこと、何ととっても子育てしやすい環境であることに気付きました。今ではすっかり須賀川の生活にも慣れ、たまの帰省で吉祥寺を楽しんでいます。



サークルとわたし



須賀川シニアリーダーズクラブ

代表者 伊藤愛菜
会 員 12人
発 足 年 昭和54年
連 絡 先 ☎(88)9171(生涯学習スポーツ課)
活 動 日 主に木曜日(月1回程度)
活動場所 tetteなど

須賀川シニアリーダーズクラブは、昭和54年から活動している高校生のボランティアサークルです。

月に1度、定例会を行い、レクリエーションや身を守るための危険予知トレーニングなどを学んでいます。市内のイベントや育成会の行事に参加し、子どもたちを楽しませるゲームを企画するなどしてボランティア活動をしています。

子どもたちや地域の方々との交流を通して、様々な年代の方との接し方や社会に出てからも役立つようなことを学べ、普段の学校生活ではできないような経験もできます。

須賀川シニアリーダーズクラブでは、ボランティアに興味のある高校生を募集しています。興味のある方はお気軽にご連絡ください。



tette 情報

tetteでは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、講座などを行っています。参加する際は、感染防止にご協力をお願いします。なお、感染状況によっては、中止または延期になる可能性があります。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA
tetteInstagram

■ tetteスクールなど

市民交流センター☎(73)4407

季節イベントワークショップ

「tette de HALLOWEEN2021 お菓子箱を作ろう」

10月24日(日) ●午前10時～11時 ●午前11時～正午
●午後1時30分～2時30分 ●午後2時30分～3時30分

※事前申込

tetteスクール

「天然素材で作るリップ&ハンドクリーム」

11月6日(土) 午前10時～11時30分 ※事前申込

■ 図書館だより

中央図書館☎(75)3309

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

10月9日・23日(土) 午後2時

※自由参加(定員20人)

おひざにだっこのおはなし広場

(おはなしの会ラ・ポム)

10月20日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)

■ こどもセンターだより

こどもセンター☎(76)6687

子育て支援講座「歯科衛生士ママの歯みがき講座」

10月21日(木) 午前10時～11時 ※事前申込

親子イベント「ハロウィングッズをつくろう」

10月22日(金)～24日(日)に制作セットを配布

※事前申込(先着15組)

子育て相談会

10月28日(木) 午前10時30分～11時30分

※先着2組

親子で点字をまなぼう！

10月23日(土) 午前10時～11時30分 ※事前申込

講師：鈴木恵子さん(点訳サークルふれあいの会)

リサイクル広場

10月30日(土)～11月5日(金) 午前9時～午後5時

ビブリオバトルー私の「推し」の一冊ー

11月7日(日) 午後1時30分～3時

※発表者(中学生以上)5人は事前申込。観覧自由



当時、須賀川町に1軒のみ残っていた野鍛冶職人の作業場

博物館

☎(75)3239

でも、使う人の癖や地域の土質に合わせ調整して鍛え、一つの道具を長く使い続けられるよう、道具の修理や相談なども受けます。機械化が進むにつれ姿を見ることが減った野鍛冶ですが、道具の困りごとなら何でも相談に乗り、地域の人々の暮らしを支えてきました。

ふるさとの遺産

須賀川アルバム
－昭和の記録写真から－

No.326

野鍛冶の作業場 (昭和40年代後半)

「鍛冶屋」といえば、昔はどの村にも必ず職人がいて、刃物を鍛える音が聞こえていました。ひとくちに鍛冶屋といっても、刀を作る「刀鍛冶」や、鑿・鋏・包丁など用途に特化した「専門鍛冶」など、道具によって分かれていました。数ある鍛冶職の中でも、農具や漁具、山林刃物を扱い、人々の生活と密接に関わってきたのが「野鍛冶」です。